

■乳腺・呼吸器外科研修プログラム

1) 一般目標

日常診療で頻繁に経験する外科的疾患(呼吸器疾患、乳腺・甲状腺疾患)に対する基本的な外科的臨床能力(態度、技能、知識)を身に付けるとともに、患者、家族に対し適切かつ誠実な対応のできる医師を目指す。

2) 行動目標

<呼吸器疾患>

1. 胸部の視診、触診、聴診、打診から呼吸状態を把握できる。
2. 炎症性疾患、腫瘍の鑑別ができる。

<乳腺・甲状腺疾患>

1. 頸部の視診、触診、聴診から甲状腺疾患の評価ができる。
2. 乳腺の視診、触診から疾患の鑑別ができる。

3) 研修方法

1. 入院患者を受け持ち、上級医、指導医のもとで診療(検査、診断、術前・術後管理)に当たる。
2. 上級医、指導医とともに手術に参加し、術中管理や手術手技を学ぶ。
3. 回診前カンファレンスや症例検討会等で症例呈示を行い、問題点を提起するとともに議論に参加する。
4. 病棟スタッフに担当患者の病態を的確に説明する。
5. 担当患者の疾患に対する情報収集、文献検索などを行う。

4) 評価

1. EPOC2で評価する。
2. 当科独自の評価

乳腺・呼吸器外科 週間予定表

		月	火	水	木	金
午前	カンファレンス 回診		回診	回診 カンファレンス 準備	カンファレンス 手術	回診 外来
	手術		外来	カンファレンス 準備	手術	外来
午後	看護師との カンファレンス		呼吸器内科 放射線科との カンファレンス	検査	手術	